

営業用倉庫の種類

倉庫の種類		概要	保管物品例
営業用倉庫	1類倉庫 (建屋)	第1類～第6類物品を保管する倉庫 危険物等を除き、保管物品にとくに制限がない	一般雑貨、米など
	2類倉庫 (建屋)	第2類～第6類物品を保管する倉庫 耐火性能を有さず、保管物品に制限がある	麦、でん粉、資料、野菜類、果実類など
	3類倉庫 (建屋)	第3類～第5類物品を保管する倉庫 防水・防湿・遮熱・耐火性能の他、防鼠措置を有さず、保管物品に制限がある	陶磁器、ガラス器など
	野積倉庫 (整地)	第4類～第5類物品を保管する倉庫 野積みの状態で保管し、周囲を柵や柵などで防護する必要がある	鉱物、土石、原木、レンガ、かわらなど
	貯蔵槽倉庫 (サイロ・タンク)	第1類～第2類物品のうち、ばらで保管する物品及び第6類物品を保管する倉庫 穀物等のばら貨物や液体を保管する	小麦粉など
	危険品倉庫 (建屋・タンク)	第7類物品を保管する倉庫 石油・化学薬品等の危険物を保管する	ガソリン、灯油など
	水面倉庫	原木等を水面において保管する倉庫	原木など
	冷蔵倉庫	第8類物品を保管する倉庫 冷凍水産物・食肉など、常時 +10°C 以下で保管することが適当な物品を保管する C3級(-2°Cを超える、10°C以下) C2級(-10°Cを超える、-2°C以下) C1級(-18°Cを超える、-10°C以下) F1級(-24°Cを超える、-18°C以下) F2級(-30°Cを超える、-24°C以下) F3級(-35°Cを超える、-30°C以下) SF1級(-40°Cを超える、-35°C以下) SF2級(-45°Cを超える、-40°C以下) SF3級(-50°Cを超える、-45°C以下) SF4級(-50°C以下)	水産加工品、冷凍食品など
	トランクルーム	その全部又は一部を個人(消費者)から寄託を受けた物品の保管に供する倉庫	事務文書、絵画など
自家用倉庫		メーカー・卸売業者などが、自己の物品を保管する倉庫 寄託契約は存在しない	